

U2-2026-

専門記述

試験問題

注意事項

- 問題は**5題**あります。受験する区分に応じ、次のとおり**1題**を解答してください。
 - **矯正心理専門職区分**
【矯正心理専門職・問題】と表示されている問題(**1題**)を解答してください。
なお、答案用紙の問題番号欄には、何も記入しないでください。
 - **法務教官区分、保護観察官区分**
【法務教官、保護観察官・No. 1】～【法務教官、保護観察官・No. 4】の**4題**のうちから、**任意の1題**を選んで解答してください。
なお、答案用紙の問題番号欄には、解答した問題の番号を記入してください。
- 解答時間は**1時間45分**です。
- 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案用紙は1枚(両面)です。
 - (イ) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるよう訂正してください。
 - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
- この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
- 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
- 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合……………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

(矯正心理専門職区分)

【矯正心理専門職・問題】次の1題を解答してください。

答案用紙の問題番号欄には何も記入しないでください。

【矯正心理専門職・問題】

以下の問いに答えなさい。

(1) 人間の攻撃性に関する次の問いに答えなさい。

- ① 攻撃性との関連が指摘されている、M. フリードマンとR. H. ローゼンマンのタイプA行動パターンについて説明しなさい。
- ② J. ダラードらによるフラストレーション攻撃仮説について、S. フロイトやK. ローレンツなどの攻撃の本能説(内的衝動説)と対比して説明しなさい。

(2) 人間の攻撃性に関する現代的な現象として、インターネット上において、特定の対象に対して批判が殺到し、収まりがつきそうにない状態や、特定の話題に関する議論の盛り上がり方が尋常ではなく、誹謗中傷に発展することがある。こうした、インターネット上で、記事などに対して非難や中傷が多数届くことは「炎上」と呼ばれる。

このようなインターネット上での「炎上」について、以下の の中の用語を全て用いて、心理学的に考察しなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

また、考察に当たっては、「炎上」の想定事例を示した上で、①インターネット空間の性質、②攻撃の生起プロセス、③攻撃の機能の三つの観点を含めて記述すること。

集団極性化、フラストレーション攻撃仮説、制裁、没個性化、印象操作、名誉の文化

(法務教官区分、保護観察官区分)

【法務教官、保護観察官・No. 1】～【法務教官、保護観察官・No. 4】の4題のうちから、任意の1題を選んで解答してください。

答案用紙の問題番号欄には、解答した問題の番号(1～4のいずれか一つ)を記入してください。

koumuin-saiyo.jp

(心理学に関連する領域)

【法務教官、保護観察官・No. 1】

学習や動機づけに関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 学習理論におけるオペラント条件づけには、正の強化、正の弱化、負の強化、負の弱化がある。

例えば、お手伝いをした子どもに、お菓子というご褒美(報酬)をあげることによってお手伝いが増えたとする。このように、報酬を与えることによって特定の行動の生起頻度が増えることを正の強化という。

正の弱化、負の強化、負の弱化の三つについて、それぞれ具体例を挙げつつ、簡潔に説明しなさい。

- (2) 動機づけの理論においては、報酬の影響を検討した次のような実験がある。実験の説明を読んで、以下の問いに答えなさい。

《E. L. デシの実験(1971)》

実験では、大学生を実験群と統制群に分け、パズルに取り組んでもらった。実験は3セッション行われ、それぞれのセッションでは四つのパズル課題が提示された。

第1セッションでは、どちらの群も同じようにパズル課題に取り組んだ。

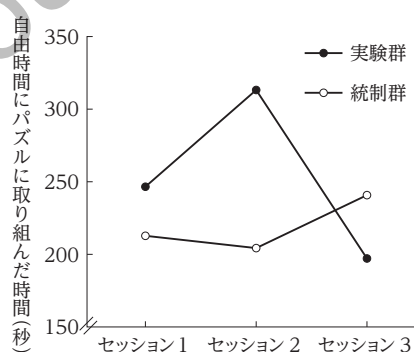
第2セッションでは、実験群にはパズルが解ければ1問につき1ドルの報酬が支払われることが伝えられ、実際にセッション終了後に報酬が支払われた。統制群には何も伝えられず、セッション終了後の報酬もなかった。

第3セッションでは、どちらの群も第1セッションと同様にパズル課題に取り組んだ。

各セッションとも、二つ目のパズル課題が終了した時点で、実験者が部屋を離れる時間を8分間設け、その間、学生は玩具や雑誌がある部屋で、パズル課題を含めて何をしてもよいと教示された(自由時間)。この自由時間に学生がパズルに取り組んだ時間を測定した。

その結果、以下の図のような結果となった。

図(Deci, 1971 を基に作成)



図からは、パズル課題を解くことができると金銭的報酬が与えられた実験群では、報酬が約束された第2セッションで自由時間にパズルに取り組んだ時間が増加するが、報酬がなくなった第3セッションでは取組時間が第1セッションよりも減少していることが読み取れる。

- ① なぜこのような実験結果になったのか、以下の 中の用語を全て用いて説明しなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

内発的動機づけ、アンダーマイニング効果

- ② デシは、実験結果を認知的評価理論で説明した。認知的評価理論を基に、どのようなときに内発的動機づけが高まるのか、以下の 中の用語を全て用いて説明しなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

報酬の制御的側面、報酬の情動的側面、有能感、自己決定

(教育学に関連する領域)

【法務教官、保護観察官・No. 2】

我が国における学校教育に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 中央教育審議会は、平成 27 年 12 月 21 日に「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」を取りまとめた。同答申によると、子供たちが今後、変化の激しい社会の中で生きていくために、時代の変化に対応して、子供たちに様々な力を身に付けさせることが求められ、そのためには、たゆまぬ教育水準の向上が必要であり、このことを実現する学校の体制整備が不可欠であるという問題意識に基づいて、「チームとしての学校」を主張するに至ったとされる。

同答申における、「チームとしての学校」像に触れつつ、それを実現するための改善方策について、3 点挙げて説明しなさい。

なお、説明に当たっては、以下の の中の用語を全て使用し、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

カリキュラム、リーダーシップ、スタッフ、協働文化、マネジメント、
校長、業務環境

- (2) 通常学級におけるインクルーシブな教育のために、教師が工夫するべき点について、①指導方法、②学級経営のそれぞれの観点から、具体的に説明しなさい。

なお、説明に当たっては、①、②全体で、以下の の中の用語を全て使用し、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

教育的ニーズ、合理的配慮、指導計画、取り出し、参加、板書、活動、
教材・教具

- (3) あなたは、中学校で、生徒 A、B、C が在籍する学級の学級担任をすることになった。生徒 A、B、C それぞれにどのような支援を行うことが考えられるか、(2) で説明した内容も踏まえて説明しなさい。なお、生徒 A、B、C に関する前担任からの引継ぎは以下のとおりである。

生徒 A

- ・急な時間割等の変更に対応できずパニックになる。
- ・友達関係を上手く築けず、学級で孤立している。
- ・急に大きな音が聞こえる場面では、手で耳をふさいだり、その場から離れてしまう。
- ・場や相手の立場を考えない発言をしてしまう。
- ・とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある。

生徒B

- ・授業に集中できなくなると、離席したり、友達へちょっかいを出したりし始める。
- ・学習に対して投げやりで、周りに対して威圧的、物を投げるなど暴力的な面もある。
- ・整理整頓が苦手で、忘れ物や無くし物が多い。
- ・自己肯定感が低く、学習支援員が近づくことを嫌がる。
- ・口頭の指示を忘れる。

生徒C

- ・両親ともに外国にルーツを持ち、小学校5年生までは父親の祖国で暮らしていた。
- ・日本語での日常会話に支障はないが、漢字が苦手である。
- ・教科によって理解に差があり、学習上のつまづきが見られる。
- ・宿題をしてこないことが多く、提出物の提出状況が悪い。
- ・日本語でのコミュニケーションが不自由な両親に、生徒Cは、進路や進学相談ができず不安を抱えている。

(福祉に関連する領域)

【法務教官、保護観察官・No. 3】

高齢者への支援に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 次は、我が国の介護保険制度に関して説明した文章であるが、A～Eに当てはまる用語を答えなさい。

介護保険制度は、被保険者は介護保険に強制加入となり、保険料を支払いながら、介護が必要になったときに、介護保険サービスを定額の負担で利用できるという社会保険の仕組みをとっている。

介護保険制度を運営する保険者は、特別区を含む市町村であり、被保険者は、65歳以上の者が第1号被保険者、 A 歳以上65歳未満の医療保険加入者が第2号被保険者となる。

介護保険法においては、保険給付の種類を介護給付、 B 、市町村特別給付に分けている。また、介護保険からの給付は、一般的に要介護度・ C 度と呼ばれる被保険者の要介護状態区分又は C 状態区分の認定を経た上で行われ、 C 状態区分は、 C 1・2の2段階、要介護状態区分は要介護1～5の5段階に区分される。

介護保険サービスの利用に当たっては、要介護者等からの相談に応じ、適切なサービスを受けられるよう、介護保険サービス等の提供に係る計画の作成や、市町村等との連絡調整を行う専門職である D の支援を受けることができる。介護保険法において、介護給付のサービスは、施設サービス、地域密着型サービス、 E などに分けられ、 E には、訪問介護、訪問看護、通所リハビリテーション等の12種類のサービスが規定されている。

- (2) 次の事例を読んで、以下の問いに答えなさい。

<事例>

地域包括支援センターに、地域住民から、ある家庭について相談の電話があった。この家には、80代の父と50代くらいの息子が二人暮らしをしている。80代の父は時々買い物に出る姿を見かけるが、最近、会話が噛み合わず、物忘れが多い様子である。同居する息子は、約10年前に仕事を辞め、それ以来、全く外出していないようだ。夜間に、この家から息子が父を怒鳴る大きな声がしており、心配している。

- ① 地域包括支援センターについて、200文字程度で説明せよ。

なお、説明に当たっては、地域包括支援センターの根拠法、目的、業務、設置主体、配置職員について言及すること。

② 本事例において、相談の電話を受けた地域包括支援センターは、以下の 内の関係機関と連携して、本事例の家庭の抱える問題の解決に当たった。

当該地域包括支援センターが見いだした、この家庭の抱える問題について説明した後、
 内の関係機関の中から任意に二つを選び、それぞれの関係機関が、その問題に対して果たす役割や、問題解決のために行う方策について述べよ。

ただし、これらの機関と連携する時期については、必ずしも同時期に全ての機関と連携しているとは限らないこととする。

認知症疾患医療センター、市町村(高齢福祉・介護部門)、市町村(障害福祉部門)、市町村(自立相談支援事業部門)、ひきこもり地域支援センター、民生委員、保健所、社会福祉協議会、公共職業安定所(ハローワーク)

(社会学に関連する領域)

【法務教官、保護観察官・No. 4】

社会学の理論や用語に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) ラベリング理論について、以下の 中の用語のうち三つ以上を使用して説明しなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

アウトサイダー、逸脱、スティグマ、アイデンティティ、
セレクティブ・サンクション

- (2) 性別を表す社会学の用語として、「ジェンダー」、「セックス」があるが、それぞれの定義や内容を簡潔に説明し、具体的な例をそれぞれ一つ以上挙げなさい。
- (3) 令和7年の内閣総理大臣指名選挙の際に話題となった「ガラスの天井」について、(2)の用語を一つ以上使いながら、現代日本社会の状況を踏まえて説明しなさい。